

1. 管 理 室

平成14年4月1日の組織統合に伴い、旧衛生研究所、旧環境科学センター双方の総務を行っていた管理室に旧環境科学センター大気科学部環境情報研究グループを加え、管理室は総務管理グループ、企画情報グループに新たに編成された。

1. 1 総務管理グループ

センターの庁舎および財産の管理や経理、人事、厚生などに関する業務を行っている。また、施設見学の受け入れや講師派遣等も行っている。

1. 1. 1 施設見学の受け入れおよび講師派遣

平成14年度の施設見学の受け入れおよび講師派遣は表1、2のとおりである。

表1 施設見学の受け入れ

1. 県政バス		
(1) 大野公民館女性学級	平成14年9月10日	35名
2. 学校関係		
(1) 県立大学生物資源学部2年次生	平成14年7月5日	42名
(2) 坂井郡養護学校教諭	平成14年8月7日	35名
(3) 福井赤十字看護専門学校2年生	平成14年9月3日	29名
3. 外国関係		
(1) 中国外交部外事監理司長一行	平成14年10月24日	3名
(2) 浙江省人民病院医療視察団	平成14年10月25日	7名
4. 消費者グループ、団体等		
(1) 県消費者センター消費生活実習講座講座生	平成14年10月10日	7名
(2) ダイオキシシン類測定分析技術研修会	平成14年10月30日	20名
(3) 長野県飯田市川路地区	平成14年12月2日	15名
(4) 坂井地区広域消費者行政推進委員会	平成15年2月21日	7名

表2 講師派遣

実施日	実施内容
14. 6.26	派遣職員：林 依頼機関：福井県教育研究所 講義内容：県内の大気・水質環境の状況 対象者：小・中学校及び盲・ろう・養護学校小・中学部の教員
8.28	派遣職員：久嶋 依頼機関：福井市教育委員会 講義内容：環境ホルモン 対象者：公民館主事
11.13	派遣職員：松本 依頼機関：福井医科大学 講義内容：ロタウイルス感染症 対象者：医学部学生
12. 6	派遣職員：岡島 依頼機関：ふくい女性財団 講義内容：リサイクルの側面からエネルギー社会を考える 対象者：ふくい女性塾受講生

1. 2 企画情報グループ

当グループの主要業務は、旧環境科学センター大気科学部環境情報研究グループで行っていた「大気汚染常時監視事業」、「環境情報総合処理システム事業」などの業務、および旧衛生研究所保健科学部病態情報研究グループで行っていた「保健衛生情報関連業務」をそのまま引き継ぐとともに、新たに所内で実施する調査研究などに対する総合的な企画調整や調査研究評価委員会の運営などを行っている。また、市町村や健康福祉センターなど関係機関の保健衛生および環境保全担当職員に対する技術研修・指導の企画、小中学校などからの要請による環境教育支援のための環境教室開催や職員派遣などについての調整を行っている。平成14年度の業務内容を表3に示す。

表3 業務内容

1. 調査研究評価の企画・調整
(1) 研究評価委員会の運営
(2) 所内研究発表会の運営
2. 調査研究
(1) ブロードバンド時代の環境情報に関する研究
(2) 大気汚染の濃度分布の解析に関する研究
3. 研修・指導事業
(1) 保健衛生および環境保全に関する研修会の実施
(2) 福井医科大学環境保健学実習
(3) インターンシップ研修制度への参加
4. 普及啓発事業
(1) 環境教育の運営
(2) 学習会への講師派遣
(3) 環境保全関係イベントへの出席
5. テレメータ常時監視事業
(1) 大気汚染状況の監視
6. テレメータ常時監視体制強化事業
(1) 大気汚染常時監視測定局の廃止、新設
7. 環境情報総合処理システム事業
(1) ホームページ「みどりネット」による環境情報の提供
8. 学会、研究会などへの発表
(1) 光化学オキシダントの濃度分布に関する研究
(2) 大気汚染監視システム間の毎時測定データ自動送信へのe-mailの活用
(3) 福井県における自殺死亡の精密分析

1. 2. 1 調査研究などの企画・調整

(1) 研究評価委員会の運営

当センターで実施する調査研究については、所長、研究企画監、各部長、各グループリーダーなど18名からなる内部評価委員会（企画運営会議メンバー）および学識経験者、健康福祉センター所長、医師など外部の委員7名で構成する外部評価委員会を開催し、新規研究課題の適否、継続研究課題（中間報告）の進捗状況、今後の方向性、および終了研究課題の成果、今後の発展性などについての評価を行った。なお、外部評価委員会には本庁関

係各課からオブザーバーとしての参加協力を得た。また、平成14年度は組織統合後初めての外部評価委員会であるため、当センターの今後の方向性や課題など、センター運営全般に係る機関評価も同時に行った。平成14年度の会議の開催状況は表4のとおりである。なお、外部評価委員会提出研究課題名および外部評価委員名(研究評価、機関評価)はI運営概要の9. 研究課題評価に記載した。

(2) 合同研究発表会の運営

当研究センター、原子力環境監視センターおよび食肉衛生検査所合同の研究発表会を平成15年2月17日(月)に実施した。発表演題数13題のうち、センターから10題について発表した。(発表演題は運営概要10.3を参照)

表4 評価委員会開催状況

開催日	委員会および内容
14.7.24 ～25	内部評価委員会 ・調査研究新規課題(5題)についての検討 ・調査研究中間報告(17題)についての評価 ・調査研究終了報告(5題)についての評価
7.29	センター部長会 ・新規課題の適否 ・研究内容の見直し
9.2	外部評価委員会 ・調査研究新規課題(3題)についての事前評価 ・調査研究中間報告(7題)についての中間評価 ・調査研究終了報告(5題)についての事後評価 ・機関評価
11.21	報告書作成 ・福井県科学技術振興会議へ研究評価および機関評価の結果報告

1. 2. 2 調査研究

平成14年度は、次の調査研究を実施した。1の調査研究内容については、調査研究編に掲載した。

1. ブロードバンド時代の環境情報に関する研究
2. 大気汚染の濃度分布の解析に関する研究(共同研究)
ー西日本および日本海側を中心とした地域における光化学オキシダント濃度などの経年変動に関する研究ー

1. 2. 3 研修・指導事業

(1) 保健衛生および環境保全に関する技術研修会の実施

保健衛生および環境保全に関し、現在問題となっている技術的な事象について、県健康福祉センターおよび市町村の担当職員を対象に研修会を実施した。

また、当センター職員の資質向上を図るため、所内研修会を実施した。

平成14年度の実施状況は表5、6のとおりである。

(2) 福井医科大学の環境保健実習

福井医科大学環境保健学講座実習の一環として、「地域の保健衛生および環境保全に対する衛生環境研究センターの役割と医師としてどう関わっていくか」をテーマに、毎年学生を受け入れている。

今年度は保健衛生分野と環境保全分野でそれぞれ7名

の学生を受け入れた。研修内容は下記の通り。

・期間：9日間(平成14年4月19日～6月21日)

・内容：

保健衛生分野(病原微生物、先天性代謝異常症、食品衛生、環境衛生など)に関する講義と実習。

環境保全分野(大気汚染、水質環境、常時監視など)に関する講義と実習および火力発電所見学。

(3) インターンシップ研修制度への参加

大学生が在学中に就業体験をするインターンシップ研修制度(福井県経営者協会主催)に参加し、学生の受入を行った。参加大学名、研修内容は下記の通り。

・参加大学名：福井大学、福井工業高等専門学校

・期 間：5日間(8月5日～9日)

・研修内容：

環境保全分野(事業全般、有害大気汚染物質の分析、河川・湖沼の調査など)

環境科学分野(事業全般、環境ホルモン、ダイオキシン類などの紹介、農薬の分析など)

・研修生数：5名

表5 保健衛生および環境保全に関する担当者技術研修会の実施状況

実施日	研修内容など	参加者	担当部
14.11.15	地域保健情報に関する研修(Ⅰ) ・保健衛生業務を円滑に行うための疫学統計研修	25名	保健科学部
12.20～	疫学統計実務研修(計3回実施)	3名	保健科学部 企画情報G
15.1.31	環境保全に関する研修 ・感覚公害について	20名	環境保全部
2.3	環境衛生に関する研修 ・サンプリング方法、数値の取扱い方 ・環境ホルモンについて ・福井県における温泉について	8名	生活科学部
2.6	生活環境に関する研修 ・衛生害虫について	6名	保健科学部
2.11	環境保全に関する研修会 ・環境報告書について 講師：中央青山監査法人会計 渡辺 泰宏 先生	80名	企画情報G
2.28	食品化学に関する研修 ・食品とダイオキシン類に関する諸問題 ・食品添加物、残留農薬などに関するトピックス ・遺伝子組換え食品とその検査について	7名	生活科学部
3.18	地域保健情報に関する研修(Ⅱ) 伝達講習	18名	企画情報G

表6 保健衛生および環境保全に関する技術研修会の実施状況(所内研修会)

実施日	研修内容など	参加者	担当部
14.11.15	感染症に関する研修会 演題：実地疫学について 講師：国立感染症研究所 感染症情報センター主任研究官 砂川 富正 先生	45名	保健科学部

1. 2. 4 普及啓発事業

小中学校等における環境教育を支援するため、要請により職員を学校へ派遣し、また、当センターの環境情報コーナー等に児童・生徒が集まり、学習を行った。

(1) 環境教育の運営

①環境教育実施状況(表7)

表7 環境教育実施状況

実施日	学校名	学年	人数
14. 5.29	足羽中学校	1年生	36名
6.25	進明中学校	1、2年生	25名
6.27	有終東小学校	6年生	69名
7. 2	宮崎小学校	5年生	46名
10. 3	武生第一中学校	1年生	13名
10. 8	日之出小学校	5年生	79名
10.16	角鹿中学校	1年生	86名
10.22	進明中学校	3年生	3名
11. 1	丸岡中学校	2年生	32名
11.13	文殊小学校	5、6年生	63名
15. 1.17	鯖江中学校	1年生	36名
2.12	高松小学校	6年生	3名
3.14	明道中学校	1年生	86名

②実施内容

- ・施設見学(環境情報総合処理システムと大気汚染監視テレメータシステム)
- ・水質汚濁の環境簡易調査実習(pH、CODバックテスト、透視度)
- ・大気汚染の環境簡易調査実習(NO、NO₂バックテスト)
- ・大気環境測定車「みどり号」、電気自動車「みどり号ミニ」の試乗
- ・パネル、ビデオによる環境学習
- ・大気汚染測定局の見学
- ・みどりネットおよび関連ホームページ等インターネットによる環境情報の収集

(2) 環境保全関係イベントへの出席

①2002越前・若狭の産業フェア出席

県主催の「2002越前・若狭の産業フェア」に、下記内容のコーナーを設けた。

- ・日時：平成14年10月25日(金)～27日(日)
- ・場所：サンドーム福井
- ・テーマ：「広げよう やさしい配慮を 環境に」
- ・コーナー内容：バックテスト、水生生物、環境情報検索コーナー

②「さばえ環境フェア2002」出席

鯖江市主催の環境保全等に関するイベント事業に出席した。

- ・日時：平成14年6月22日(土)～23日(日)
- ・場所：鯖江市嚮陽会館
- ・内容：大気環境測定車「みどり号」の展示および説明

③「いまだて環境フェア」出席

今立町主催の環境保全等に関するイベント事業に出

展した。

- ・日時：平成14年10月27日(日)
- ・場所：今立町生涯学習センター
- ・内容：大気環境測定車「みどり号」の展示および説明

1. 2. 5 テレメータ常時監視事業

(1) 大気汚染状況の監視

①大気汚染常時監視測定局における測定

福井県大気汚染監視テレメータシステムにより大気汚染の常時監視を次のとおり行った。

- ・測定期日：平成14年4月1日～平成15年3月31日
- ・測定地点：
 - 一般環境大気測定局(一般局)
 - 県管理18局 市町管理19局
 - 自動車排出ガス測定局(自排局)
 - 県管理3局 市町管理1局
 - 特殊気象測定局(気象局)
 - 県管理1局
 - 発生源監視測定局(発生源局)
 - 企業管理4局

・測定項目：

二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、窒素酸化物、光化学オキシダント、炭化水素、一酸化炭素、風向・風速、温度・湿度、自動車走行台数、日射量・放射収量、燃料使用量、排ガス温度、排ガス中硫黄酸化物・窒素酸化物・酸素濃度、発電量

県管理の測定局における平成14年度の測定結果の概要は下記1～6のとおりであった。(詳細についてはホームページ参照：<http://www.erc.pref.fukui.jp/tm/>)

1. 二酸化硫黄(SO₂)：一般局7局で測定

全局、環境基準を達成していた。年平均値は、0.002(小浜)～0.006ppm(敦賀)、1時間値の最高値は、0.021(小浜)～0.097ppm(敦賀)、日平均値の2%除外値は、0.005(小浜)～0.016ppm(和久野)であった。

2. 浮遊粒子状物質(SPM)：一般局18局で測定

黄砂の影響ではほとんどの局で4月9日、10日の2日間連続で日平均値の環境基準を超過し、長期的評価で環境基準不達成であった。年平均値は、0.020(三方)～0.031mg/m³(金津)、1時間値の最高値は、0.150(今立)～0.370mg/m³(坂井)、日平均値の2%除外値は、0.060(三方)～0.082mg/m³(春江)であった。

3. 窒素酸化物(NO₂、NO、NO+NO₂)：一般局18局、自排局3局で測定

二酸化窒素(NO₂)は全局、環境基準を達成していた。年平均値は、一般局では0.007(三国、他3局)～0.015ppm(福井)、自排局では0.017(自排敦賀)～0.019ppm(自排福井、自排鯖江)、1時間値の最高値は、一般局では0.037(小浜)～0.085ppm(三国)、

自排局では0.048(自排鯖江)～0.065ppm(自排敦賀)、日平均値の年間98%値は、一般局では0.015(今立)～0.030ppm(福井)、自排局では0.031(自排敦賀、自排鯖江)～0.033ppm(自排福井)であった。

一酸化窒素(NO)の年平均値は、一般局では0.002(小浜、他2局)～0.010ppm(福井)、自排局では0.020(自排敦賀)～0.028ppm(自排鯖江)、1時間値の最高値は、一般局では0.035(小浜)～0.270ppm(敦賀)、自排局では0.237(自排福井)～0.298ppm(自排敦賀)であった。

窒素酸化物(NO_x=NO+NO₂)の年平均値は、一般局では0.008(今立)～0.025ppm(福井)、自排局では0.037(自排敦賀)～0.047ppm(自排鯖江)、1時間値の最高値は、一般局では0.065(小浜)～0.312ppm(敦賀)、自排局では0.281(自排鯖江)～0.339ppm(自排敦賀)であった。

4. 光化学オキシダント(OX)：一般局18局で測定

全局で、環境基準を超える値が測定(年間19～74日)され、6月10日には二州地区で光化学スモッグ注意報が発令された(発令は12年ぶり)。昼間の1時間値の年平均値は、0.026(福井)～0.036ppm(三国)、昼間の1時間値の最高値は、0.077(福井)～0.128ppm(敦賀)であった。

5. 炭化水素(NMHC、CH₄、THC)：一般局6局、自排局3局で測定

非メタン炭化水素(NMHC)の年平均値は、一般局では0.09(三国、敦賀)～0.13ppmC(大野)、自排局では0.17(自排福井、自排敦賀)～0.18ppmC(自排鯖江)であった。

メタン(CH₄)の年平均値は、一般局では1.81(福井)～1.86ppmC(敦賀)、自排局では1.85(自排福井)～1.86ppmC(自排敦賀、自排鯖江)であった。

全炭化水素(THC)の年平均値は、一般局では1.92(福井、他2局)～1.96ppmC(大野)、自排局では2.02(自排福井)～2.04ppmC(自排鯖江)であった。

6. 一酸化炭素(CO)：自排局3局で測定

全局、環境基準を達成していた。年平均値は、0.6(自排敦賀、自排鯖江)～0.7ppm(自排福井)、1時間値の最高値は、3.4(自排福井)～4.2ppm(自排鯖江)、日平均値の2%除外値は、3局とも1.1ppmであった。

②大気環境測定車「みどり号」による調査

平成14年度は常時監視補完調査を4地点、行政依頼調査を1地点で実施した。

・調査地点と期間：

1. 大飯町本郷

平成14年5月17日～6月18日 常時監視補完調査

2. 名田庄村小倉

平成14年6月25日～7月23日 常時監視補完調査

3. 上中町兼田

平成14年8月8日～9月5日 常時監視補完調査

4. 南条町牧谷

平成14年9月27日～10月25日 常時監視補完調査

5. 勝山市昭和1丁目

平成14年11月1日～11月29日 行政依頼調査

・測定項目：二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、窒素酸化物、光化学オキシダント、炭化水素、一酸化炭素、風向・風速、温度・湿度

5地点全部でオキシダントの環境基準値(0.06ppm)を超過したが、注意報発令基準値(0.120ppm)には至らなかった。その他の常時監視項目(二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、一酸化炭素)は環境基準値を下回っていた。(表8)

1. 2. 6 テレメータ常時監視体制強化事業

一大気汚染常時監視測定局の廃止、新設一

平成11年度に策定した大気汚染常時監視測定局再配置計画に基づき、14年度は自動車排出ガス測定局3局の廃止・新設を行った。

廃止：自排福井局(福井市大宮)、自排鯖江局(鯖江市有定)、自排敦賀局(敦賀市三島)

新設：自排福井局(福井市下六条)、自排丹南局(鯖江市水落)、自排敦賀局(敦賀市古田刈)

また、金津局について土地貸借上の理由により移設を行った(金津町馬場→金津町市姫)。

1. 2. 7 環境情報総合処理システム事業

ホームページ「みどりネット」による環境情報の提供一

環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築に向け、県民等が環境情報を有効に活用できるよう、ホームページ登録情報の追加更新、行事案内等の掲載、システムの機能強化を行った。

(「みどりネット」：<http://www.erc.pref.fukui.jp/>)

(1) ホームページ登録情報の追加更新

①文書情報・データベースの追加

- ・ダイオキシン類調査結果
- ・海水浴場の水質および病原性大腸菌O-157の調査結果
- ・平成13年度大気・水質の常時監視結果と公害苦情件数
- ・13年度PRTR集計結果
- ・平成14年度公共用水域および地下水の水質の測定に関する計画
- ・平成13年版 環境白書(福井県)(PDF版)
- ・環境ふくい推進協議会情報紙「みんなのかんきょう」(平成14年度発行分)

- ・福井県廃棄物処理計画(平成14年3月発行)
- ・福井県アメニティマスタープラン(平成2年3月発行)
- ・福井県の気象概況2001年
- ・「福井県地球温暖化対策地域推進計画」(平成12年3月発行)
- ・「福井県景観づくり基本計画」(平成4年3月発行)
- ・「福井県におけるフロン回収の取組み」ページの更新
- ・「福井県のプランクトン」ページの新設

②地図情報の更新

- ・福井県鳥獣保護区等位置図(平成14年版)

(2) 行事案内等の掲載

- ・平成14年度ISO14001認証支援事業補助金募集案内
- ・アースサポーター(地球温暖化防止活動推進員)募集案内
- ・「集まれ!エコメイト」募集案内
- ・環境月間行事案内
- ・「夏のエコスタイル」宣言事業所の募集案内

- ・地球温暖化防止のための「環境自主行動計画策定ガイドブック」を発行
- ・“アイドリングストップ”を呼びかける「エコーはがき」の発売
- ・「ごみ減量化・リサイクル日本一推進県民大会2002」の開催
- ・「ISO14001推進セミナー」の開催
- ・「環境保全技術研修会」の開催
- ・「環境ふくい推進協議会企業研修会」の開催
- ・「パートナーシップ交流会」参加者募集案内
- ・「水環境づくり四県共同会議」参加者募集案内
- ・ふくい環境シンポジウム「笑いの中で考える循環型社会」の開催
- ・第31回合同研究発表会の記録掲載

(3) システムの機能強化

- ・みどりネット内「環境情報コーナー」の改善
- ・インターネット接続先の変更によるセキュリティおよび通信速度の向上

表 8 大気環境測定車「みどり号」による調査結果

調査項目 調査地点	調査期間	最多風向	風速 (m/s)	気温 (℃)	湿度 (%)	二酸化 いおう	浮遊 粒子状物質 (mg/m ³)	一酸化 窒素 (ppm)	二酸化 窒素 (ppm)	オキシ ダント (ppm)	非メ タン炭化水素 (ppmC)	メ タ ン (ppmC)	全炭 化水素 (ppmC)	一酸化 炭素 (ppm)
大飯町本郷 (大飯町総合市民センター駐車場)	平成14年 5月17日～ 6月18日	S	4.3 1.4 0.0	31.4 20.0 10.2	99 76 30	0.015 0.004 0.001	0.092 0.028 0.000	0.050 0.002 0.000	0.033 0.006 0.000	0.096 0.047 0.008	0.27 0.08 0.02	2.24 1.86 1.71	2.34 1.94 1.77	0.7 0.3 0.1
	平成14年 6月25日～ 7月23日	NNW	4.0 0.8 0.0	34.3 24.6 14.7	99 75 38	0.009 0.002 0.000	0.070 0.020 0.000	0.028 0.003 0.000	0.012 0.003 0.000	0.077 0.018 0.001	0.20 0.06 0.00	2.06 1.77 1.69	2.17 1.83 1.72	0.6 0.2 0.0
	平成14年 8月8日～ 9月5日	ESE	7.3 3.3 0.0	36.0 26.5 16.9	90 69 30	0.025 0.002 0.001	0.135 0.027 0.000	0.028 0.003 0.000	0.016 0.005 0.000	0.077 0.023 0.001	0.19 0.06 0.00	2.14 1.80 1.70	2.21 1.86 1.73	0.4 0.1 0.0
南条町牧谷 (ウォーターランド南条 駐車場)	平成14年 9月27日～ 10月25日	ESE	7.0 2.0 0.0	27.6 17.4 8.0	91 74 27	0.010 0.003 0.001	0.122 0.029 0.000	0.034 0.003 0.000	0.032 0.011 0.001	0.087 0.026 0.002	0.29 0.13 0.07	1.94 1.83 1.75	2.10 1.96 1.86	0.5 0.2 0.0
	平成14年 11月1日～ 11月29日	E	3.0 0.7 0.0	16.8 6.3 -0.6	93 77 30	0.014 0.003 0.001	0.138 0.018 0.000	0.043 0.005 0.000	0.033 0.010 0.001	0.056 0.022 0.002	0.36 0.12 0.07	1.89 1.84 1.78	2.20 1.97 1.87	1.2 0.3 0.1

(上段：最高値、中段：平均値、下段：最低値)